

特集

★安定的な財源の確保に取り組むクラブ★

特定非営利活動法人 K-Friends

徳島県勝浦郡勝浦町

日本スポーツ協会が「総合型地域スポーツクラブ育成プラン2023-2027」で掲げる総合型クラブ育成の基本理念である「スポーツを核とした豊かな地域コミュニティの創造」を実現するためには、クラブの活動が地域に根ざし、クラブが安定的に運営されることが必要です。

そこで今回は、安定的な財源の確保に向けた取り組みを行っているクラブを紹介します。

1

クラブ概要

「仲間づくり」の思いを込めて名づけたK-Friends。今では地域の交流の場に

勝浦町では平成19(2007)年6月から平成20(2008)年2月まで、文部科学省委託事業「(財)日本体育協会育成指定クラブ委託事業」を受け、総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会を設置しました。

クラブ名は、準備期間中に全国から募集し、「仲間づくり」という思いを込めて「K-Friends」に決定しました。スポーツや文化行事などさまざまな活動を通じて、子どもから高齢者のみんなを仲間と考え、仲間同士、交流を広げ深める場として、クラブが機能していくようにという願いを込めました。

平成21(2009)年3月21日に、からだ「元気」こころ「健康」そして「笑顔」を合言葉に、地域住民で構成した任意団体「K-Friends」を設立、スポーツ振興くじ助成金にて、スポーツ教室やスポーツイベントを開催し、町民の健康づくりと地域活性化を担ってきました。

設立と同時に、町内の2つの施設(町民体育館と農村環境改善センター)の指定管理者となり、現在に至るまで、事務局を配置した町民体育館を活動拠点とし、町内唯一のフィットネスルームも完備し、町内外の専門学生や仕事帰りの若年層に利用していただいています。

平成25(2013)年9月13日に、NPO法人格を取得し、行政や町民の期待のなか、行政各課と関係を構築し、「勝浦町国民健康保険保健活動事業」「介護予防事業」などを事業受託し、多年齢の方の健康づくりを担っています。特に教育委員会の受託事業としては、全町民対象(町人口の17%が参加)の「みんなの運動会」の運営を担い、乳幼児から高齢者が一緒に楽しめるプログラム企画で、毎年盛り上がっています。



みんなの運動会2023風景



介護予防事業 にこにこ体操

地域特性や特産物を活かしたイベントで県内外からの参加を促進

急速な人口減少や少子高齢化が進むなか、交流人口の増加を図り、地域活性化の一翼を担うスポーツツーリズムイベントを工夫しながら開催してきました。なかでも印象深いイベントである勝浦町の地域特性を活用した「どろたんぼソフトバレーボール大会」は、参加者以上にカメラマンが来場して、各新聞紙上を飾りました。



どろたんぼソフトバレーボール大会

また、地域資源と特産物の「みかん」を活かした「かつうら満喫みかんウォーキング」は、毎年11月の恒例イベントとなり、県内外の家族連れや県内他クラブからバスツアーとしての参加があります。



かつうら満喫みかんウォーキング

勝浦町は、最古級の恐竜の化石地層があり、ティラノサウルス形類の歯の化石が発見されました。「恐竜の町かつうら」をアピールするため、クラブ主催の「恐竜運動会」を開催し、参加者もスタッフも笑顔がいっぱいで、次年度も開催が決定となりました。



恐竜運動会 参加者全員集合



コロナ禍を乗り越え、活動や財源も安定。団体表彰も受賞

令和3(2021)年からの3年間はコロナ禍で厳しい運営状況が続きましたが、指定管理の受託により安定した収入があり、職員の雇用やクラブの運営が心配なく継続できたことが現在の活動につながっていると思います。本当にありがたかったです。

また、本年度、他団体や県内他クラブとの交流も活発であり、財源も安定したクラブであると徳島県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会からご推薦いただき、「2024年度徳島県表彰」の団体表彰を受賞しました。

【会員数】

254名(令和6年3月31日現在)

【定期教室】

キッズ・ジュニア対象⇒キッズサッカー・運動遊び・親子で遊ぼう！フリータイム
成人対象⇒健康力アップ・ヨガ・楽しくダンス・ハワイアンダンス・にこにこ体操
サークル活動⇒スポンジテニス・卓球・ソフトバレーボール

【文化教室】

お手玉サロン・なんちゃってボイトレ

【スポーツ体験会】

ニュースポーツ体験(カローリング・ボッチャ等)・健康ウォーキング

【徳島県補助金事業】

子ども体力向上事業⇒保育園対象の幼児運動能力調査・パークールで遊ぼう
クラブ発！スポーツで地域活性推進事業⇒恐竜運動会・グラウンドゴルフ
中学生対象のスポーツチケット活用事業
とくしまスポーツ活性計画助成事業⇒卓球交流大会

【公益財団法人徳島県スポーツ協会補助金事業】

スポーツSDGs推進事業⇒かつうら満喫みかんウォーキング
スポレクプログラム促進事業⇒講師派遣事業

【勝浦町受託事業】

勝浦町国民健康保険保健活動事業⇒かつうら健康ポイント事業
勝浦町介護予防事業⇒にこにこ体操

【勝浦町指定管理受託事業】

勝浦町民体育館
勝浦町農村環境改善センター
かんきつテラス徳島内勝浦町借受施設(オレンジファクトリー・コワーキング室)
道の駅「ひなの里かつうら」

【補助金】

勝浦町総合型地域スポーツクラブ活動補助金

【組織】

理事会 理事12名 監事2名
事務局 常勤職員 4名 パート職員18名

2 アイデアを生かす実行力と決断力で財源を確保

地域のニーズを察知し、フィットネスルームを設置

現在では、民間フィットネス施設や公共施設にも当たり前にありますが、当クラブは、設立当初から若年層の運動する機会の増加を目的にフィットネスルームを設置しました。

クラブ設立後すぐに、定期教室への若年層世代の参加は見込めないなどの課題があることを知り、課題解決のためフィットネスルームの設置を教育委員会へ相談したところ、「管理一切をクラブがすること」と「必ず使用状況が目視で確認できること」を条件に事務局の隣(窓越し)にある会議室に、フィットネス機器(ランニングマシン、筋トレバーベルなど)を設備しました。

町内外の仕事帰りの男性や専門学校の生徒、陸上競技(駅伝)選手、消防団員、体力づくりを目的とする方などの利用が増え、年会費(安全保険は必須)と毎回の利用料が収入源となっています。(年間67,000円・令和5年度決算)

課題点としては、ランニングマシン等の機器は高額のため、町からのクラブ活動補助金を活用して購入や修理を行っています。



セルフジムフィットネスルーム



機器使用方法の指導

4つの施設の指定管理を受託

①勝浦町民体育館(クラブ事務局)

②勝浦町農村環境改善センター(体育館に隣接 300人収容のホールあり)

平成21(2009)年度、行政が指定管理者制度により町民へのサービス向上と経費削減を目的として町民体育館と農村環境改善センターの指定管理者を募集した年度が、タイミングよくクラブの設立と重なったので、活動拠点の確保と安定した財源確保・雇用の安定ができると判断し、受託しました。

それまで勤労者体育館として使用頻度が少なく、使用者が体育館の開閉をするような管理者不在だった町民体育館は、指定管理者を置くことで、各スポーツ団体や個人の利用者が急激に増加し、活気あふれる体育館になりました。農村環境改善センターも、クラブの自主事業の開催などにより、利用者数の増加と多種多様なコミュニティの場となりにぎわっています。

③かんきつテラス徳島内勝浦町借受施設(オレンジファクトリー・コワーキング室)

令和3(2021)年8月、徳島県所有の「かんきつテラス徳島」の施設内において、勝浦町が町民の六次産業の商品開発を目的としたオレンジファクトリーとコワーキング室を整備し、その施設の指定管理者募集がありました。

受託条件は施設管理と年4回の施設機能の紹介イベントを開催することでした。スポーツ部門ではない産業関係の施設でしたが、当クラブではスポーツ大会やイベント(農村環境改善センターで食育事業を開催)などの企画運営をしていたノウハウがあるので、受託可能であると判断し、ちゅうちょすることなく指定管理者となりました。

当初は、施設管理と施設紹介事業だけのはずでしたが、半年後には、理事長や職員が商品開発に興味を持ち、六次産業の商品開発を始動させました。

商品開発を始めたきっかけは、令和3(2021)年の新型コロナウイルス感染症の流行でした。当クラブの理事会で、人口増が期待できない勝浦町での会員数の伸び悩みやスポーツ教室の参加人数の減少で、年会費や参加費の減収の心配がふつふつと湧き上がってきました。これから先、次世代に引き継いでいくためには、これまでの活動のほかに利益を確保できる収益事業を行う必要があると考え、定款に「その他の収益事業」を追加し、六次産業の商品開発に取り組み始めました。

スポーツクラブの職員なので、当然、六次産業の商品開発や販売の知識はなく、一からのスタートでした。隣町で開講している六次産業商品化の講習会へ何度も出席し、「ストーリー性のある商品を開発するために何ができるのか」、「原価計算・ラベル表示・成分表」などについて勉強をしました。また、食品を扱うので、食品衛生講習を受講し、合格証をいただきました。その半年後には、勝浦町議会で「販売できる商品づくり」が議題となっていたこともあり、町と相談したうえでオレンジファクトリーを保健所許可施設として許可していただき、本格的に「K-Friends」オリジナル商品の製造と販売を道の駅や産直市等でスタートさせました。

2年間で商品販売収益も順調に利益を上げており、阿波かつうらブランド推進協議会にも加盟し、ふるさと納税の返礼品セットの注文もいただいています(350万円 令和6年3月決算)。



商品開発会議



マルシェ



商品製造



みかんジャム

④道の駅「ひなの里かつうら」

令和5(2023)年11月には道の駅「ひなの里かつうら」の指定管理者の再募集があり、六次産業商品販売での関係性も深まっていたため、もう一段階上の運営をめざすべく、「タイミングをチャンス」と捉え、令和6(2024)年4月1日から4つ目の施設の指定管理者となりました。

新施設の道の駅「ひなの里かつうら」は、町の中心部に位置し、平成26(2014)年3月から行政主導で運営し、10年の経過ののち、民間運営への方針となりました。町や住民の期待がある基幹の施設であり、組織的にも運営方法(特に会計方法)もNPO法人であるスポーツクラブとは異種事業と思っていた施設を受託することは、当クラブにとって不安を背負っての大きな決断でした。

職員数(パート含む)も、今まで道の駅で勤務していたベテランの職員の4人が加わり、合計22名と大所帯になり、ふるさと納税事務代行事業、阿波かつうらブランド推進事業などの受託事業や販売事業など、その他収益事業費等も含めると、令和5(2023)年度2,700万円だった予算が令和6(2024)年度には6,110万円へと倍増しました。



道の駅「ひなの里かつうら」



クラブ職員の駅長さん

3

スポーツ施設以外の指定管理も受託することで 持続可能なクラブ運営を

指定管理受託の効果や影響と今後の展望

①町民体育館受託

体育館内に事務局があるため、教室・サークル・イベント等の際にスムーズに予約や開催することができています。また、クラブ所有のスポーツ用具等も貸出可能としており、ファミリー等が手ぶらでさまざまなスポーツを楽しむことができるため、運動する機会の創出につながっています。

体育館の事務局には、クラブ職員が常勤しているので、スポーツ以外のさまざまな相談に来られます。パソコンやスマホの操作方法などの相談もあり、町民のコミュニケーションの場(困ったときの「K-Friends」)となっています。

②農村環境改善センター

300人収容のホールでは、放送機器の整備をしており、ズーム(Zoom)での教室開催やパブリックビューイングなど常に新しい事業にも挑戦しています。実習室管理においては、地域住民のニーズに対応できるようボイラーの資格を取得し、積極的な協力体制で町民へのサービスの提供ができています。

③かんきつテラス徳島内勝浦町借受施設(オレンジファクトリー・コワーキング室)

指定管理を受託し、六次産業商品販売に至る過程でいちばんの財産となったのは、地域の農家さんとのつながり、販売先とのつながり、そして商品の購入者とのつながりなど、スポーツ関係者とは異業種の「人と人のネットワーク」の広がりです。そして最大の効果は、今年度の決算で物価高騰や賃金のベースアップにより他事業の決算はマイナスとなりましたが、六次産業商品の収益額で補填でき、全体での影響は受けなかったことです。その収益で、クラブ専用の軽自動車も購入でき、仕入れ販売ルートだけでなく、スポーツイベント時にも大いに活躍しています。

また、令和6(2024)年1月1日の能登半島地震の被災者支援として、「NPO法人かなざわ総合スポーツクラブ」「リボンのと」の関係者の方にご尽力いただき、いつでもどこでもそのまま食べることが可能な「まんまいも」を、珠洲市の避難所の皆さんに食べていただくことができました。小さな支援ではありますが、温かさを感じてもらえてうれしかったです。

六次産業商品は、原材料の仕入れ先が地域の農家さんであるため、安定した仕入れができないことや不ぞろい野菜を使用しているため味が統一しにくいなど、まだまだ課題点はありますが、一つひとつ解決しながら、愛情込めた商品づくりをめざしています。



クラブ専用の軽自動車購入



珠洲市の避難所で「まんまいも」の配布をしていただきました

④道の駅「ひなの里かつうら」

令和6(2024)年4月1日からの指定管理スタートに向け、まずは事業計画と予算書(特に収益事業)や雇用形態の調整会議を何度も開催し、もともと道の駅で働いていた職員と疑問点を納得いくまで話し合いました。会計処理や税関係(法人税や消費税)においても、税務署や会計士に相談し、決算時に困らないように予算書を作成しました。まだまだ不安は残っていますが、道の駅の職員と密に確認を行い、売上額とふるさと納税等の向上をめざし、運営(経営)してまいりたいと思っています。

異業種の「人と人のネットワーク」を生かし愛情込めた活動を

当法人は設立以来、行政との連携を密にし、地域団体と協力体制を築きながら地域活性を担い、町民のスポーツ振興と会員の健康づくりを長期間支えることで、地域から信頼され頼られる必要不可欠な団体(法人)になりました。

当法人の取り組みは、全国のスポーツクラブから見て、珍しい財源確保の道なのかもしれません。しかし、「スポーツ」と「食」の関係は深いと思っています。これからも、県内外問わずマルシェ等を通じて、各団体とのつながりにより活動をPRしていきたいと思っています。

今後もクラブを取り巻く環境に大きな変化があるかもしれませんが、今はスポーツ関係施設の指定管理受託だけでなく、幅広く町の活性化を担う施設の指定管理を受託することが、小さな町で安定してクラブ運営をしていくための最善の手段であると確信しています。

クラブ関係者や職員が一丸となって、スポーツクラブの発展に力を注ぎながら、持続可能なクラブ運営をめざしたいと考えています。

特定非営利活動法人K-Friends 理事(クラブマネジャー) 溝上由美

クラブプロフィール

設立年月日 平成21(2009)年3月21日(平成25(2013)年9月13日 法人登記)

所在地 徳島県勝浦郡勝浦町

運営 会員数:254名(令和6年3月末現在)、予算規模:6,110万円(令和6年度)

特徴

- からだ「元気」こころ「健康」そして「笑顔」を合言葉に、町のスポーツ振興と地域活性化を担い活動しています。
- 町の町民体育館・農村環境改善センター・かんきつテラス徳島内借受施設オレンジファクトリー・道の駅「ひなの里かつうら」の4施設の指定管理を受託し、それぞれの施設にて、自主事業等を企画運営して、自主財源の確保の確立をめざしています。
- スポーツ振興を担う教育委員会をはじめ、福祉課、農業振興課、企画交流課、総務防災課等の各課との連携や町内の各種団体とのつながりも強く、町になくてはならない法人です。

連絡先 〒771-4307 住所:徳島県勝浦郡勝浦町大字三溪字古川1-1

TEL:0885-42-3671 FAX:0885-42-3671

HP:<https://kfriends.info/>

E-mail:kfriendskss@gmail.com